

## 那珂市議会 議会運営委員会記録

開催日時 平成30年1月22日（月）午前10時

開催場所 那珂市議会第2委員会室

出席委員 委員長 君嶋 寿男 副委員長 萩谷 俊行  
委員 寺門 厚 委員 綿引 孝光  
委員 木野 広宣 委員 勝村 晃夫

職務のため出席した者の職氏名

議長 中崎 政長 副議長 遠藤 実  
事務局長 寺山 修一 次長 清水 貴  
次長補佐 横山 明子

会議に付した事件と概要

(1) 議員勉強会の進め方について

…勉強会の進め方と準備物等を協議

議事の経過（出席者の発言内容は以下のとおり）

開会（午前9時57分）

委員長 皆さんおはようございます。

本日は議会運営委員会にご出席いただきまして、まことにご苦労さまです。

本来ならば、先日17日に臨時会の後に開く予定でしたが、特別委員会もありましたので、本日に変更させていただきました。

きょうは議員勉強会の進め方について、皆さんと協議をしていきたいと思っておりますので、よろしく願いをいたします。

また、今日午後から雪が降るということですので、なるべく早目に皆さんの意見をまとめながら、スムーズな運営をしていきたいと思っておりますので、よろしく願いをいたします。

ではご挨拶に代えさせていただきます。

ただいまの出席委員は6名であります。

定足数に達しておりますので、これより議会運営委員会を開会いたします。

職務のため、議長、副議長及び議会事務局職員が出席しております。

ここで中崎議長よりご挨拶をお願いいたします。

議長 改めましておはようございます。

ただいま委員長からお話がありましたとおり、議会報告会のあるべき姿について調査研究ということでございますので、ひとつ慎重なるご審議をお願いしまして、挨拶といたします。ご苦労さまでございます。

委員長 ありがとうございます。

では早速これより議事に入ります。

初めに、議員勉強会の進め方についてを議題といたします。

本年度第2回目の議員勉強会は、議会報告会について議員全員で話し合うこととし、1月30日に行う予定となっております。

本日、まず次の議会報告会のスタイルを検討し、1つないし2つの案を決めて、それについて、30日の勉強会で皆さんにどのように話し合っていたかについてを協議していきたいと思います。

では本日の資料に従いまして、順に検討していきたいと思いますので、初めに事務局から資料の説明をお願いいたします。

次長補佐 それでは、本日資料をお配りしたものについて、若干説明をさせていただきます。

ただいま委員長のほうからありましたとおり、まず資料のほうの1ページ、次回の議会報告会についてどのような形で行うかというものをある程度、議運の中で検討していただいて、そのあと2ページのほう、30日の議員勉強会をどのように進めていくかということについて、ご検討いただくことになっております。

まず1ページでございますが、次回の議会報告会について、ある程度のポイント的なものを幾つか絞っておりますので、①番から報告会のネーミング、それから実施時期、定例会や各委員会の報告、今第一部として行っているもの、報告についてどのようにするか。

それから意見交換会の方法といたしまして、今、那珂市議会では対面の学校形式というような形で実施しておりますが、先日の東京での議員勉強会では、グループでの座談会形式ですとか、ワールドカフェスタイルというものの紹介がございました。

それから、意見交換会のテーマの設定について、それと進行、記録の方法、細かいことは、実際の新しい議運のほうで決める形になると思いますけれども、グループ分けすると、当然全体での進行とか記録ができませんので、その辺のやり方についてでございます。

続いて2ページが30日の勉強会の進め方についてということで、グループに分けて、皆さんで話し合っていたいてはどうかという案が前回出ましたので、どのようなグループ分けにして、グループの中での役割分担、あとは議運の方が中心になって進めていただくような形になると思うんですけれども、その辺の役割分担を決めていただきたいということと、それから用意するものとして、例えば模造紙ですとか、マジックとか付箋とか、そのようなもので何か用意するものがあれば、こちらで用意いたしますので、それを挙げていただきたいということでございます。

それから、実際にグループの中で話し合ってもらうテーマ、それとどのようにそれをまとめて、発表するかどうかですけれども、最終的なまとめの仕方ということを決めていただきたいと思います。

3ページからは、参考例といたしまして、早稲田マニフェスト研究所のほうで、議会改革度調査の中で、2015、2016で議会報告会の取り組みをしているところとして紹介のありました、幾つかの議会のものをちょっと調べまして、参考に載せております。

まず東村山市議会、こちらは前から結構出ているんですけど、年4回開催してまして、結構頻繁にいろいろなテーマについて、グループに分けてディスカッションをしているような形で行っているところです。

それから堺市議会、こちらは議会報告会、トークカフェというタイトルで、次のページに案内のほうをコピーしておりますが、こちらは非常にテーマもいろいろありまして、こちらのトークカフェというものの裏面に、意見交換のテーマを挙げております。

委員会ごとにテーマを幾つか決めて、これは事前に申し込みをさせていただいているようですね。事前にどのテーマについて話し合いたいかを、市民の方から申し込みを受けて、当日そのテーマについて話し合いをしているという、トークカフェという形でやっているところがございます。

続いて青森市議会、こちらはタイトルのほうが「議員とカダる会」という、方言でしょうかね。こちらで市民との意見交換会ということで、構成としては、議会報告とワールドカフェという形で実施しておりますが、チラシのほうをつけておりますけれども、大体内容的には毎回、まちづくりの関連の皆さん、市民の方からの意見を出していただいて、どういうまちにしたいかとか、どういうことが問題かとか、そういうことを話し合っているということでございます。

4ページにいきまして、取手市議会、こちらは那珂市議会でも議運で一度お邪魔して、報告会のやり方について、お話を聞いたところがございます。

取手市議会のほうはグループ形式で座談会のような形で、話し合いをしたり、時にはワールドカフェのような形を取り入れたり、いろいろ試行錯誤をしながらやっているということがございます。

その下に注釈としまして、ワールドカフェスタイルというのはどういうものかっていうものを書いてありますが、カフェのようなリラックスした雰囲気の中で、少人数に分かれたテーブルで自由な対話を行い、ほかのテーブルとメンバーをシャッフルして対話を続けることにより、参加者全体の意見や知識を集めることができる対話手法の一つというふうに位置づけられております。

ワールドカフェにつきましては、若干時間が必要だということで書かれておりますので、メンバーを入れかえる都合上、余り短い時間ではちょっと効果が得られないということがございますので、やるとすればどういふふうにやったらいいかというのをある程度決めておかないと、せっかくの対話がなかなか有意義にならない可能性がありますので、その辺はちょっと調べていく必要があるかなとは思っています。

ほかに資料といたしまして、富津市議会の報告会の案内、こちらはテーマを決めて、テーブル単位で意見交換をしている写真も載っておりますね。

それから新浜市議会、こちらは議会フォーラムという名前になっておりますが、意見交換会ということで、こちらは外部のコーディネーターの方が実際に司会進行をしている例

でございます、ファシリテーターとこの間言っていましたけれども、外部の方を使っていろいろなテーマについて話し合っているという例でございます。

私からは以上でございます。

委員長 ただいま説明が終わりましたので、順にこれから皆さんと協議をしていきたいと思えます。

まず初めに報告会のネーミングについてということで、これについてはどのように、皆さんの考えをあれば伺いをしたいと思います。

議会報告会というだけにするのか、そこに何かを入れて皆さんにちょっと興味を持ってもらうようにするとか、そういうのがいいのか、今までの那珂市議会議会報告会という形で進めたほうがいいのか、また先ほど説明が事務局からありましたように、皆さんテーマを決めればそのテーマをちょっとのせてネーミングを変えてみるとか、それもあるかと思うんですが、その点についてご意見を伺いたと思います。

どうですか。

副議長 これはあれじゃないですかね、内容が決まらなると何かそのネーミングも、内容を表すのがネーミングでしょうから、学校形式に今までのようにするのか、また座談会形式にするかによってネーミングも違ってくるような気がするんですけども。

場合によっては内容を決めてからのほうでもいいんじゃないんですか。

委員長 今副議長からネーミングについては何をやるか、その内容を、やり方によって、ネーミングを考えてはという話なんです、そうすると、今副議長から意見交換のやり方、報告会の仕方、そういうのを先に決めてはどうかということですよ。

ほかにありませんか。

勝村委員 まず、その形式、形。形をどんなふうにするか、今までのように学校形式にするのか、座談会形式にするのか、そこらいかないと何かネーミングも決まらないだろうし。

委員長 ただいま勝村委員からは、副議長と同じように、形式ですね、やり方を決めてからがいいんじゃないかということなんです、どうですかほかに。

なければ、まずやり方を協議させていただきます。

じゃ、次回の議会報告会、今回は5回終わった後、見直しをしてみようということで、皆さんと話をさせていただきながら、次回の報告会のやり方を変えるということですので、そのやり方について、どのような方向でやり方をしていったらよろしいか、皆さんのご意見を伺いたと思います。

先ほど例をちょっと事務局から説明がありましたように、学校形式、今までと同じですよ、報告会をして、そこで市民の方からそのあとは意見交換のご意見を伺うというやり方と、座談会方式、何かのテーマを決めて、皆さんで協議してもらおうとか話をしてもらおうとか、そういうやり方もあると思うんですが、どういうやり方がいいか。

寺門委員 私はワールドカフェ方式というのは、非常にいいなと思うんですけども、お茶を

飲みながら気軽にリラックスして話すというのは。

ただこれ、まちカフェでも何回かやっていますけれども、なかなかその、コーヒーとお菓子は飲んだり食べたりしていくんですけども、最近どうなのっていう、この自治会活動について、皆さん来てそれについて話をするかという、まだそういうところには至ってなくて、自治会としてどういう活動をしてるんですかみたいなぐらいの話にはなるんですけども、それを考えると、やっぱりテーマを決めて、座談会方式、グループで少人数で意見交換をしていくのがいいのかなというふうに思います。

委員長 テーマを決めて、そこで座談会ですから、それで皆さんの意見交換という考えですね。

寺門委員 そうですね。全員でみんな丸くなって、皆さん何かありませんかねっていう話じゃなくて、これは小グループで、最初大人数でやって、あと小グループに分けて、細かな話をしていくっていうのがいいのかもしれない。ちょっと今思いました。

委員長 グループをつくって、そこでの交換会。

ほかにありませんか。

ちょっとそのことで、皆さんにご意見を伺いたいのは、報告会、今までは議会の活動、年度明ければ予算の編成とか、あとは各委員会の報告とかありましたけど、それについてはどうしますか。

それもまずやってから、その懇談会、座談会にするか、もう最初からテーマを決めて、座談会にするのか、その点もうちょっと皆さんに検討していただければと思います。

寺門委員 今までは各委員会含めて1時間、正式には50分ぐらいですけども、それでお知らせをするということで、時間を設けていましたけれども、これは全体で議会として一つか二つ報告をします。あとはもう配付資料をごらんくださいで多分いいと思うんですよね。

そうすると、時間が多分20分ぐらいで済むので、残り1時間半とか約2時間近くは皆さんとお話ができるので、そちらのほうがいいのではないかなというふうに思います。

委員長 今までは1時間とってたものを、今度はその中の主なものを一、二点説明して、その他はもうそういうテーマの中の懇談、意見交換ということですよ。

副議長 ちょっとそもそもの確認ですが、きょうの議運の話し合う内容というのは何なのかということですが、来週に議員勉強会がありますよね。

私の認識の中ではちょっと勘違いしてるのかもしれないんですが、来週の議員勉強会で議員全員で今後の議会報告会のあり方をみんなで議論するのが今度の議員勉強会なんですよ。違うんですって。

委員長 いや、そうじゃなくて、きょうここで二、三点ぐらい皆さんで協議してもらって、それを案として出して、その中でどういう方向性にするか。

ですから本来、議運も3月で変わりますので、その後の報告会について、ある程度形をつくって渡したいということがありますので、次回の報告会についての、こういう形でやりたいっていうのを30日に皆さんで勉強会の中で協議してもらおうっていうか、まず形をつ

くってもらおうという形なんです。

きょうは今後の報告会をどのようにするかをまず決めて、やり方、形をつくりたいということなんですけど。

副議長 そうすると、次回、議員勉強会でやることってどういう……

私の勝手な勘違いとしては、来週の議員勉強会で、例えば三つのグループぐらいに分かれて、こういった内容をそれぞれのグループでいろいろと協議してもらって、今みたいなまさにネーミングをどうするか、どういう形式にするかみたいなものは、まさしく来週それぞれのグループでやって、それぞれ発表でもしてもらって、それを受けて前回こういうのが出たねっていうことで、議運で最後に2月とかに取りまとめをして、次の期に送りをするのかなと思っていたので、きょうは来週の火曜日に議員勉強会をやるための、皆さんに何グループかに分かれてもらって、どういう準備をして、そういうことを話し合いするのだと思っています、この本質の内容は、どちらかというところ、ここであんまり原案を決めちゃうと、来週みんなで議論するに当たって、たがをはめるようなことになりはしないんですかねって、あくまできょうは来週の準備だけだと思っていたんですけど、そこらってどうなんですか。

委員長 ちょっと私のほうでそれは勘違いというか、30日の勉強会では、ただぼっとこの報告会について出しても、まとめができるかなって、決められた時間でというのもあったものですから、ある程度形をこの報告会についての流れ作りをしてあげたらどうかと思って、きょう皆さんの意見をまとめて、それを提案しようかなと思ったんですけども、今副議長が言うように、きょうはこういう形で皆さんに決めてもらおうというのを提案するという形でよければそういう形でも、皆さんがそういう形でよければ、そういうふうに進めても結構だと思いますが、今度の勉強会、じゃ何やるんだって言われたときに、こういう形で皆さんの報告会の形っていうのを作ってあげたいなと思って考えてたんですけど、その点ちょっと皆さんの考えでいいです。

私は別にこれでなんでかんで進めなきゃならないということじゃなくて、それは結構ですから、ご意見いただいてまとめたいと思います。

寺門委員 私も副議長と同じことを実は考えてはいたんですけど、今委員長のほうから確かに当日30日、いきなり報告会どうしましょうって言われても、何かたたき台があったほうがいいよねという考えなんだろうなと思って、今この1ページ。

本来きょうは2ページをどうしようかねっていう話でやるんだろうなということなんで、メインは私は2ページだと思うんです。

1ページ目は、じゃ詰まったときどうしようかねという、例えばという話で話ができればいいのかということ、その事務局のほうにもいくつか案を出してもらってるんでね。

だから、メインはあくまでも2ページだと思っています。

勝村委員 実は私はそう思っていました。

委員長 そうですか、わかりました。皆さんそういう形ならば了解しました。じゃ、ちょっと変更させてもらって。

次長 委員長おっしゃったように、前回のときに、議会報告会どうしますって投げかけてもまとまらないから、2つぐらい案を作っておいて、それをベースにやってもらおうかということと終わっていたので、今回、2つぐらい型をつくっていただければいいのかなと考えていたんですよ。

遠藤副議長が言うように、30日の形態を決めて、こういうテーマでって投げかけもあると思うんですけど、前回そういう話で終わったものですから、そういうことで委員長が進めていると思います。

寺門委員 答えながら、これ決めちゃっていいのかなと思いつつ……

委員長 わかりました。

じゃまず1ページの報告会についての内容、ここは確認だけさせてもらいたいと思います。ですから、先ほど意見交換のやり方っていうのも、こういうやり方というので提案をさせてもらって、皆さんに協議してもらおうと、そういう形でもよろしいですか。

そしたら、この後の30日にどんなことを皆さんで協議してもらおうかというのを確認しながらということなんで、意見交換のやり方については、先にこっちのグループ分けを決めちゃったほうがいいですかね。2ページを先にやっちゃったほうが早いんですよ。

では、ちょっと戻らせていただきまして、30日の勉強会をどういうふうに進めるかっていうことをまずここで決めていきたいと思いますので、グループ分けで行うとすると、何人ぐらいの班で分けたほうがよろしいか。

1班が一応6名ということで、そうすると6・6・5で3班。

そうすると、その役割分担、各委員会から皆さん上がってきてますので、議運のメンバーがその進行役か何かになってもらったほうが、内容がわかってますからよろしいかと思うんですが。

分け方、これもどのようにするかですね。

寺門委員 委員会はばらかしたほうがいい。

委員長 そうすると各委員会から2名ずつ、それともどんなふうにするか。その辺の割り振りですね。

綿引委員 提案なんですけど、あくまでも。

委員会分けていうと、やっぱり委員会色が強くなっちゃって、極端な話、議席番号の古い方と新しい方を交互に古い方ばかりじゃ何かあれだし、新しい方ばかりでもあれだから、古い方と新しい方を交互に組み合わせるようなセッティングをしたらどうでしょうか。

副委員長 今綿引委員が言った考え方であれば、それはものすごくいいかな思ったんですけど、それでまた委員会が偏っちゃう可能性もあるかもしれないと今考えていました。

それをチェックして、一回割り振ってみるといいのかなと思います。もしそれがうまく

いってれば、一番いいのかなと思って、考えていたんですよ。バランスよく。

委員長 今綿引委員から話がありました。

ちょっと書いてもらって、1班のメンバーが議席番号の17番と1番、というように入ってもらって、ちょっと今それで出してもらって。

(班編成について複数の発言あり)

委員長 じゃ、班編成については、6人・6人・5人で、1班が、福田議員、大和田議員、勝村議員、中崎議長、萩谷議員、小宅議員。

2班が遠藤副議長、富山議員、笹島議員、寺門議員、古川議員、綿引議員。

3班が私、そして花島議員、助川議員、筒井議員、木野議員ということで、6・6・5で、各委員会から2名ぐらいの割り当てができたということで、すばらしい班編成で、これで班編成は行うということでしょうか。

(「はい」と呼ぶ声あり)

委員長 そうするとその役割分担ということで、進行役は議運に、1班で勝村委員、萩谷委員がいますので、2人でやっていただくということで、2班は寺門委員と綿引委員で、3班については、木野委員と私がいるということで、そういう形で進めていくということで、議運のメンバーがこの役割になるということですね。

これは進行役で進めるということでしょうか。いい割り振りで決まりました。

そうすると、そこでまず進行役ということで2人決めて、そこでやっていただくということと、あと用意するもの。

副議長 役割ができたんで、あとマニフェストの時にあったように、ほかの人も役割を割り振って、記録と発表と時間とか、そういうのを決めて、みんな一人一役はりつけるようにしましょう。

ただ、5人しかいないところはちょっとあれだけでも、進行と記録と時間と発表。

それだと一応3班見ると進行以外が3人だから、記録、時間、発表でそれぞれ割り振っていただいて、1、2班はあともう1人ずついるから何か役割を。

委員長 ちょっと確認ですが、このやり方とグループ分けは、この間の勉強会と同じやり方でいいですよ。そうすると、模造紙に付箋を貼って、いろいろ書いて、やるというやり方でね。

じゃ、その中で、6名の中の役割を皆さんで決めてもらうということですから。このやり方については、東京の勉強会のやり方でね。

副議長 ちなみに東京の勉強会を欠席した人は。

委員長 欠席した人は、小宅議員、福田議員、富山議員。

副議長 3人欠席している。

委員長 でも、いろんなところで皆さんやってるでしょうから。

貼りつけるのは皆さん自分らであれですから、このメンバーについてはどうしますか。

そこで皆さんで話し合っ決めてもらったほうが、ここでもう決めちゃうよりは。6名の中で、進行役は議運のメンバーが入りますけど、その他については、当日でもいいのかなと思うんですけど、余りこちらが決めちゃうのもね。

この間も東京でもそのようにね、だれが役やるかってのはそこで決めたいぐらいですから。そうするともうそこで自動的に役割が決まれば、用意する物も模造紙とマジックと。

副議長 模造紙じゃなくてホワイトボードのほうがいいんじゃないですか。

委員長 ホワイトボードが確保できるときは、それ専用のマジックと付箋と、それだけでよろしいですよ。

あとは用意するものってないですよ。何かありますか。

(「ない」と呼ぶ声あり)

委員長 じゃ、それでよろしいですか。

そうすると次に3番の話しあうテーマは、この1ページにある、報告会のネーミングとか、実施時期とか、そういう形でということなんですけど、一応テーマも、ただ漠然とテーマということより、少しここでちょっと案として、出してもらってれば、そこでちょっとアドバイスの話出せるかなと思うんで、もしあれば。

議長 寺門委員長のところでやっていたような那珂市の下水道の将来についてとか、教育厚生でやっているICT教育とか、総務生活では空き家対策とか。

委員長 そうすると、今いくつかテーマも出してもらったんで、もっとどんどん皆さんこういう形のテーマを出してもらおうということで、一応例で挙げてもらって、どんどんそれを書き出して、何がいいかをそこで決めていくのもいいかと思うんですよ。

今委員会では、総務生活だと空き家対策、教育厚生だとICTとか、下水道は産業建設のほうで今生活排水とか、そういうものをテーマにして、今度は皆さんの意見を聞きたいねってこともやれば、そういうのも出せるかなと思うんで、そういう形で、話すテーマはちょっとそういうアドバイスをしていただきながら皆さんの声を上げていただければと思います。

そういう形でよろしいでしょうか。

議長 今度の勉強会でも出してもらおうでしょ。そしてテーマを絞るのか、それともある程度一杯出しておいて、報告会のとときにそれを市民に選んでもらうのか。

副議長 まさに議長おっしゃった、そこを私も今聞こうと思っていて、そのテーマについて話し合うのもそうなんですけど、そのテーマを事前にこのチラシなんかを書いて、市民に呼びかけて、このテーマでやりますよってやるのか、それとも皆さん来てもらったその当日に、このテーマでこのグループは空き家ですよ、このグループは下水ですよって割り振って、そこで勝手に配置してしまうのか。

そのテーマもさることながら、テーマを事前に告知して集めるかどうか、あと当日、お客さんの割り振りもどうするかとか、そこら辺もやっぱり来週は、皆さんグループごと

で徹底的にちょっと詰めていかなきゃいけないと思うので、そういうアドバイスというか、前振りも。

委員長 それについては、やはり皆さんに今度その30日、勉強会というのはテーマをどんどん挙げてもらって、それを何についてやるかを定めるものと、あと当日の報告会はそのテーマが決まったら、市民にどうお知らせするかっていうのと、私個人の考えだと、テーマはこういうことでやりますよっていうのを、市民に伝えて、早く言えば三つの班で分けてもいいだろうし、そういうのもやり方を決めて、それも今度の30日に皆さんで決めてもらいたいなと思うんですよね。

ですから、報告会もただ漠然と報告会をやりますよではなくて、今度はそういうテーマで話し合いますということと言わないと、何やるんだ、わからないって言われるよりは事前にそういうお知らせも入れておいたほうがいいと思います。

多分皆さんそういうのを出してますよね。報告会の中で、チラシでも。そういうテーマも出してはどうかなと。そういうのもちょっと皆さんの意見、話し合ってみてください、30日も。

副議長 あと1点ですね、全体でやるやり方と、あと場合によっては、常任委員会単位で報告会をしている市もありますね。

だから教育厚生で今回いじめをテーマにこの日やります。きょうはいじめの問題だけとか、教育のテーマだけ。産業は産業でとか、そういう委員会単位でやっているような報告会もあるんですね。

だからそういったものも含めて、広く那珂市議会としての議会報告会ってどうするかって、いろんな議論をしたほうがいいと思うので、全体でやるやり方もありますと。ただそういうやり方も一部にあるようですと。

それを含めて、どういうやり方がいいかっていうそういう選択肢もちょっとご提示しながら、幅広い議論をやってもらえる準備だけしたほうがいいかなと思いますね。

副委員長 今副議長からも出ましたけれども、この堺市議会では、各常任委員会に対して、3つか4つテーマを与えているんですよね。最後に希望なしはありますけど。

ただ、今回3班に決めましたよね。この常任委員会が対象で市民の皆さんと座談会みたいにやるのか、この3班に分かれて市民の皆さんと座談会をやるのか、こういうことも少し決めたほうがいいのかな。

常任委員会対象じゃなく、こういう3つに分かれて、テーマがまた幾つかに分けてやるか。勉強会の中で出た中で、この1班はこうですよ、2班はこれとこれですよ、3班はこれですよと、常任委員会関係なくやる方法も可能性もあるのかなとは思いますが、その辺もつかみながら話し合っただけで、どういう方向にしていこうか、やっぱり今までと違った形でね、やっぱり市民の皆さんが、こういう方法もいいぞと思うようなことも少し検討しても、これも必要なのかなと思いますよね。

せっかくこういう形になりましたからね。どうするかですね。

委員長 今回、30日の勉強会で話し合うテーマの中では、報告会で皆さんで市民と意見交換会をする中での話とか、あとは報告会のやり方について、進め方についてもちょっと皆さんの意見をお伺いしていただければと思います。

あと一つ、3月から各常任委員会のメンバーが変わりますので、そういう流れで各常任委員会がまとめて、その委員会ごとにやる方向がいいか、その辺もちょっと皆さんで検討していただければと思います。

2年間やってきて、やはり今各常任委員会まとまって動いていると思うんで、そういうときだったらいいんですが、また新たなスタートになったときっていうのもありますから、その辺もちょっと、皆さんの意見で大丈夫だとなればやっていいかなと思うし、1回はグループで今みたいに分けて、6名・6名・5名でやってのグループ分けの意見交換会とか、そういうやり方もいいし、今までの対面式がいいのかっていうのもありますから、その辺の意見を皆さんで伺っていただければと思います。

ほかにありませんか、それについて。

次長補佐 当日資料として準備するのに、例えばきょうのような形で、こういうことについてっていうことで、出したほうがいいのか、意見交換の方法を今度変えるっていうことなので、それをメインに皆さんに考えていただくような形にしたほうがいいんだと思うんですけども、テーマの設定にしても、設定しなくていいって意見も出るかもしれないし、その辺はもうテーマを決めるっていうことで話し合っているのか、例えばこの項目についても、もうちょっと細かく分けて、グループ分けをどうするのかとか、学校形式のままでもいいとおっしゃる方もいるかもしれないですけども、その辺を資料として皆さんにお配りするものは、もうちょっと細かくしたほうがいいのか、こういう形で何々についてってことで、それだけでいいのか、その辺をちょっとご意見をいただければそれに沿って、資料を準備したいと思うんですけども。

委員長 どうですか、その辺については、ある程度資料をあと少し準備をしてもらうか、それともこの流れの中で進めればいいのかっていうことでよければ。

議長 今までの議会報告会への参加人数がだんだん頭打ちになってきて、まあ、やってよかったって意見が多いんですけども、さらに参加してもらうには、形式を変えていかないとという意味でやってるわけだから。

委員長 あとは座談会でも、グループが何人来るか分からないから、グループ分けもね、何人来たら、何人で1班つくるかとか、そういうのもちょっと考えておこなきゃならないし、先ほど副議長言ったように、事前にある程度人数を希望者とか、そういうのも確認しておくとかそういうのもやったほうがいいのか。

副議長 そこまでは言ってない。

委員長 そういうのもちょっとね、グループ分けしたときの検討の仕方、そういうのも、ただ

グループ分けします、何班んでやりましようと言ったって、何人来るかわからないですから、その辺もちょっとね、皆さんで意見交換していただければ。

だからこの資料は付けてもらっていいですよ。やっぱり同じようにこういうものについては。

寺門委員 これは勉強会のそのアウトプットは、要するに、何にするかということで討議の仕方は変わってくるんで、その議会報告会のあり方が、やり方をこういうふうにしましようという方向性だけでいいのか、具体的にじゃあ次は、討論会方式、座談会方式でグループで集まってやりますよというところまででいいのか、その辺もきちんとここで決めておかないと、前回の話では方向性だけ決めておけばという話でしたけれども、それでいいのかですね。

副委員長 テーマを幾つか挙げましたけど、例えば来た人が、常任委員会対象に分けてやった場合、どここのテーマとか、そっちのほうがいいよってみんながそっちに集まっちゃったり、あんまりここのテーマにいかないって、常任委員会形式でやった場合ですよ。

それもあり得るから、その辺を少し煮詰めておかないと、いざ本番になったら、こっちはばかり人が、もう一つは均等に来た人を分けるのか、皆さんに希望をとっていくのかとか、いろいろありますよね。

その辺をちょっと煮詰めないと、ばたばたしてしまう可能性がありますよね。寺門委員が言うような形が出てくるということですね。

委員長 新しくなったときに、来年度の報告会について、どこまで形をつくっておくかっていうことで、あとはその後の議運の方がやれる範囲の報告会の形を作っておくかっていうことも、方向性だけつくって、あと内容については、検討してもらうのもいいのかなと思うんですけど。ですから、そこをどこらへんまでつくるかですよ。

副議長 確かにどこらまでつくるかっていうのは難しい、逆にこちらでがちっと決めちゃって、次回に渡すときに、その裁量が余りなくなるのも申しわけない気はしますが、ただ、せめて今回は全員で話を来週するわけですから、次期の議運のメンバーも入っての話し合いなので、どっちかちょっと今、前と新の新しい話し合いを一緒にやっちゃうと、来週ね、ということにもなるかなとも思いますから、そこはどっちかというともみんなで話し合った結果を、多分現の議運で2月か3月ぐらいには一回取りまとめはするんでしょうが、それはある意味まだ将来見ぬ新議運の意見も入ってるものがまとまってくるという感じで、なるかなとは思っているので、まず来週の話し合いでまとめたものを一回我々で、最後にまとめるということでもそんなにそごは生じないかなっていう気はします。

ただちょっとさっきの副委員長の話から思ったのは、やっぱりちょっとなかなかこのテーマをもし決めたとしても、今の話はもしかしたら、議会報告会当日3班に分けて、この班は下水だけ、この班はいじめだけってやっちゃうと確かに来場者が、いや、こっちは興味ないとかそういうのもあると思うので、よく福祉系のワールドカフェみたいにやる場合

って、やっぱりその私はこのテーブルには行きたくないとかこっちに行きたいというわがままを言わせないために、来場者にもう例えばABCとかって札を割り振っちゃって、まず座ってはもらっちゃうんですね。

座ってもらっちゃって、ただ不公平が出ないように、そのグループは時間、1時間とか1時間半の中でも、その三つの決まっテーマ全部話し合いする。30分、30分、30分、いじめと下水と空き家って全部30分話をするんです。そのグループの中で。

だから進行役も大変だけでも、時間を割り振って。そうするとお客さんもどのグループに入ろうが不公平感はない。

皆さん3つのグループでそれぞれ3つのテーマで、いろんな市民の皆さんのご意見交換もできるし意見聴取もできるんで、それをそれぞれのグループで発表するというような感じにすれば、恐らく来た方も不公平感がなく、バランスよく話し合い、いろんなその市民の意見を聴取することができるっていうか、意見交換もできるのかなと。

だからどのグループも同じテーマでみんな話し合うっていうふうにするやり方もありますよという話。もうこのグループはいじめだけってそういうやり方もあるけど、というふうなことです。

委員長 今副議長からお話がありました。

これについても30日、そういう意見が出たときにちょっとそういうまとめをしていただければということで、方向性はそういう流れですから、交換会をどのようにするかということもね、皆さんの意見の中で決めていきたいと思います。

副議長 あと我々が設定したものをどう処理するかもそうですが、今まで報告会に来ると、自分の意見を言いたい、要望したいっていうのが多いじゃないですか。

それは行ってみたら、いやそれは議会さんの決めたやり方にはそれは従うけども、俺はこれが言いたいんだっていうものもあると思うんですね。だからそれはある意味はけ口とか、その要望を聞くような手段も多分考えたほうがいいのかと。

例えばグループで割り振った最後の5分とか、10分ぐらいは各グループの皆さんのご意見をばっとお聞きして、わかりました、こういうことですねっていうようなことで、それはそれで議会として意見を聴取する機会をちゃんと取っておかないと、何だか議会のペースだけど、俺の言いたいことを全然言えなかったってなっても困るかなと。そういう工夫も考えて、来週話し合うといいのかなと思うんですね。

委員長 やはり大事だと思うんですね。

報告会の中で、市民の方も多分今までのことを見れば、いろんな言いたいことがたくさんあるので、そういうのも聞く時間を取って、聞く耳を持っていますよっていうことで、今度の30日の話し合いに、ちょっとそういうのも入れていただければと思います。それで皆さんで検討していくと。

あとほかにありませんか。ここにこういうのも入れるといいよと。

あとは皆さんどんどん意見が出てくると思いますので、そこで行きたいと。そうするとそのあと、これについてのまとめ、発表については、その進行の議運のメンバーで発表をしていただければと思います。

(「役割は班の中で」と呼ぶ声あり)

委員長 じゃ発表者は、その班の中でね。了解しました。

勉強会、時間をどれぐらい取りますか。

この日、その後特別委員会が入るんで、それもありますので、一応予定では11時半までに終わりにしたいかなと思ったんですが。

ただ特別委員会は、今度は耐震とかですからそんなに時間はかからないと思うんですけど。どうしますか。

それで一応何分ぐらいとか時間を決めておかないと。

次長補佐 一応勉強会は議運の委員長のほうで、仕切っていただいて大丈夫ですか。

例えば今からこういうことを何分までにまとめて順番に発表してくださいとか、そういう始まりからそのまとめまでの流れを指示していただくのは、委員長で大丈夫でしょうか。

委員長 大丈夫です。こういうことで決めて今分けますのでということですね。

次長 発表者が発表したものを最後に1つに集約しなければならないと思うんですが。

勝村委員 集約しちゃうと、押しつけになっちゃうよ。

副議長 次回の議運でいいんじゃないですか。

委員長 それは次回の議運で。当日は意見だけ出してもらって。

次長 じゃ、3つのパターンが出来上がってという形で。

委員長 それを次の議運のときに、どんなふうにするかちょっとうちらも検討させてもらうという形のほうがいいのかな。そこで、余りまとめないで。一応そういう意見を出すというところまでで。

意見をまとめて、最後こんなふうに次回やりましようかっていうことでやってもいいんですけど。次の議運のメンバーのやり方もあるから、一応参考にしてもらうとか、そういう形でも。どういう意見が出るか、どんどん言ってもらいましょう。

このグループ分け、どれぐらい時間とりますか。グループ分けでの意見交換もそれも決めておかないと思うんです。

今からじゃあ分けて、何分までってこの間もそうですけど、そのあと報告してもらいますから取りまとめで何分までって決めなきゃならないと思いますので。

寺門委員 30分ぐらいですかね。テーマについて話して、その次、議会報告会をどういうふうにするんですかという話、いくつかに分けておかないと。全体で議会報告会をどうしますかというテーマでやるのか。

委員長 議会報告会を変えるということですから、それについて皆さんで話してもらって、一つ一つそれで決めて報告してもらってまた次ってやったほうがいいのか、それともこれを

まとめて出してもらったやつを、これについてはこうってやったほうがいいのか。

どっちがいいですかね。その辺の進め方を一つ一つやると、時間を10分なら10分でとって、また報告してってやると時間がかかっちゃうから、それならば逆に、意見交換、こういうことで議運で決まりました、このやり方の中で順番をこれについては何分ぐらいで全部話し合ってくれて。そして最後の報告を受けたほうがいいのかなと思うし。

今まで1時間報告して、あと1時間が意見交換やってきたことじゃなくて、今度はグループ分けにしてですから、さっき意見が出たようにちょっと、二、三点の重要な課題等を報告して、あとはもうグループ分けでやるとか、そういう形ですよ。

議長 一回早稲田行って勉強してきてるんだから、変わるんだっていう感覚はあると思うから、変えなくちゃってということで勉強してるから、そんなに抵抗はないと思います。

副委員長 方向性は、学校形式はもうやめるって言っちゃっていいんじゃないですか。

委員長 もう5回やったんで、今度は変えますって話はしてますから、そういう面でも。

そうするとその中で、グループ分けで検討する内容を何分で、一つずつやって発表するんじゃないかって、幾つかを全部まとめて皆さんで協議してもらって、それを発表する時間、そういうやり方がいいかなと思うんですけど、その辺で。

議長 例えば、さっき言ったような教育厚生や産業建設で問題になっている例を出して、あと、皆さんのご意見を言ってもらって。市民が今一番興味を持っている生活道路がどういうふうになっているのかとか、そういうのを言ってもらって、テーマに取り上げましょうというようなことを言えば、何とかなるでしょう。

委員長 あとは実施時期とか、そういうのが、皆さんに意見をちょっと挙げてもらうということで、これを載せてそれによって話し合ってくださいということでやればいいですよ。

あとは時期もいつごろがいいのか、各班で出して、そういう形でやってもらえば。

一回ちょっと暫時休憩入れますので、11時20分に再開いたします。

休憩（午前11時07分）

再開（午前11時20分）

委員長 再開いたします。

では1月30日の議員勉強会については、皆さんの意見をいただいた中で進めたいと思いますが、そのほかに何かここで決めておきたいという話、ご意見あれば伺いたいと思います。追加で何かありませんか。

副議長 いわゆる勉強会の終わり方として、その全議員に周知というか、一応確認できよう皆さんにいろいろと話し合っていて、まとめていただいたこの3つの案をまた議運でもう一度話し合っ、今期の議運の取りまとめをさせていただきますのでというふうなそういう終わり方でいいんだとは思いますが、そういうことでちゃんと、最後に皆さんにお伝えというか、最初に言ったほうがいいのかな、その目的っていうか、きょう皆さんで話し合っていていただく位置づけっていうのは、最初にちゃんと確認した上で、そういった意味

できょうすべて決まるわけじゃないけど、その分いろんな議論、意見を出していただきたいみたいなものをちょっと前もって皆さんにお伝えした上で、最後はこれを一旦取りまとめは次回の議運でさせていただいて、またご報告いたしますと、そういうふうな位置づけをきちっとお伝えした上で、安心して議論していただくというのがいいのかなと思います。がどうでしょう。

委員長 今副議長からお話がありました、今回の1月30日の勉強会の一応趣旨的なものと、その内容についてこういう流れを説明して、あと最後の取りまとめということを入れて、皆さんには説明したほうがいいんじゃないかという話ですよ。

それは必要だと思いますね。最初に何でって、何やるのって言われてもあれですから、こういう意見でということ伝えてたいと思いますので、それは私のほうで始まる時に言って、最後はそれを皆さんの意見をまとめさせていただいてということで、またそれをしめるということ。わかりました。

そのほかに何かありませんか。

綿引委員 議会報告会の改革っていう話で進めているんですけども、このネーミングっていう話で、11月の視察行ったときに、議会だよりっていうネーミングも、もう古いよっていう話があったような気がしたんですが、広報委員会を無視するわけではないんですが、こういう席で、議会だよりのネーミングについても、皆さんのご意見をちょうだいして、最終的には広報委員会のほうにゆだねるという形でいいと思うんですが、もしそういうのも、話し合う必要があればと思います。

委員長 それは追加みたいな形で、議会報告会とは別に、そういう議会だよりについてのネーミングとか、そういうのも今後の、これはあと広報委員会のほうにもちょっと上げないとあれですものね、それで検討してもらおうとか、広報委員会でそういうネーミングについて話は出てますか。

副議長 今ちょっとオブザーバー的に出ているのはですね、議会広報編集委員会なんですよね、議会広報を編集するだけの委員会という名称なんですよ、名前の上では今。

ただ、今例えばSNSの活用をして、双方向に、議会として即応性でいろんな情報を出して、それでまた場合によってはいろんなご意見をもらうような双方向性ね、市民との。そのやり方とか、そういったものも今、事務局に調査していただいて、そういったほか県内の議会のSNSの取り上げ方をちょっと勉強したりしているところなので、そこも含めると、議会広報編集だけではなく、やっぱり議会をいかに発信するかということ、いろいろと市民の意見をどういただくかっていういわゆる広聴機能も含めて、どうしようかという話し合いなり、そういう議論はちょっとし始めておりますね。

ですから、どうなんでしょう、このままでいくと、もうこのままメンバーが変わるだけの編成になってしまいますが、これを機会に、今の議会広報編集委員会の役割自体も一旦どこかで議論をするとすれば、もう今しかないんですよ、3月議会ではもう名称は決ま

ってしまうから。

もし例えば、前に議運で所沢市議会で勉強したときなんかには、広聴広報委員会みたいな、広聴をもっと機能を高めようっていうことで、議会改革という中でやってきたものも見ておりますので、そこらもこの議運でもし議論するとすれば、もう残りわずかな中で、ちょっとどうしようかなっていう感じを今綿引委員の話聞いて思いましたけどね。

委員長 これについては広報委員会でも議論してもらわなきゃならないし、あとは今後やはりこういう報告会についても、広報関係がある程度中心に、やっぱり担ってもらうのもひとつかなっていうのもあるんで、これからの課題の中の一つになってくると思うんですよね。

ですから、今回報告会も変えてやってみようということで、もう一度また新たにスタートしてみて、そういう中で、広報委員会の役割っていうか、そういうのも検討してもらってもいいのかなと思うんですけど、もうここへ来てちょっと一、二か月でいろんな話は、今度の課題ということで投げかけてもいいんじゃないかなと思うんですけど。

寺門委員 副議長のほうからも話が出ましたが、私も広聴機能というのは非常に重要な役割ですので、特に議会報告会については、報告ではなくて、まさに広聴、聞きましょう、お伺いしますよっていう体制に変えようということなので、やっぱりこの機会一度、議員全体どうなのというところをきちんと話をしておいたほうがいいのかなというそういう時期だと思うんですよね。

課題にするのはいいんですけども、次の広報編集委員会のままでいくと、もうそのままその一年二年終わっちゃうので、仮にその勉強会でできるのであれば、こういうふうにしたほうがいいんじゃないのという意見が出れば、それを今度ももらって、じゃこうしようというふうになればいいのかなと。

あわせてそのネーミングも当然、私らも前、あきる野かな、あれは「ギカイの時間」という議会だよりはネーミングでやってましたけど、そういうことも含めて全体的に考えたほうがいいのかなというふうに思います。

勉強会は、ちょっと時間が長くなって申しわけないんですけども。その辺も、多分報告会のネーミングという話は、今回勉強会でやると思うんでね。であれば、みんなでどうなのよというところはちょっと議論しておいたほうがいいのかなというふうに思います。

委員長 そうすると今度の勉強会の中でそれもちょうと入れたほうがよろしいんですか。

時間がないと思うんですよね。だから、ただちょっとグループの中で検討事項の中に、それも入れてもらってどうですかね、逆に3つの班でちょっとそれもテーマとして、この課題の中に入れて、それちょっと皆さんの意見を報告会とは別に、これから関係することなので。

副議長 どちらかという、別というよりは前に見た所沢は広聴広報委員会が主催してたんですよね、議会報告会を。

なので、あくまでやっぱりいろんな意見を聞くという意味で、やっぱりそれは専門委員

会としての広聴委員会が実施していたので、だからまさに議会報告会のあり方としては多分関連はしちゃうんですね。

だから、グループの中での議論をちょっと少し整理していただく意味では、きょうのいわゆるその議運の皆さんの進行の腕次第ではございますが、ちょっとそういったところも含めて、この枝の中で、主催についてとか、運営についてとか、そういったものについても1つ設問を入れてもらおうと、そこもきちんと話し合えるんじゃないかなと思いますね。

委員長 実際、今副議長言ったように、報告会、広報広聴委員会というか、うちは議運でやっていますけど、ほかの委員会でやっているところもありますから、そういうのも絡めてちょっと班の中で、大変でも議運の皆さん、進行の中でそれを入れて進めて、ご意見をいただければと思います。そういう意見をちょっと聞きながら、まとめるというか、そういうのも一つの方法かと思います。

あと綿引委員から話が出たようにやっぱりネーミングなんかも、あきる野市もそう、ただ議会だよりとかじゃなくてちょっと変えてみるのも、市民の方の目を引くのもあれですから、そういうのもちょっと入れて聞いて意見を伺っていただければと思いますので、それについてはよろしくお願ひしたいと思います。

そういう形でよろしいですか。

あとそのほか何かございませんか。

次長補佐 ちょっと整理させていただきたいんですけども、当日は、全協室のあの並びでとりあえず始まって、事務局のほうでこの割り振り表をお配りしておいて、実際に意見交換のときに、場所を1班はこの辺でとか2班は後ろのほうでとか、そういう感じでよろしいですか。配置というのは。

委員長 そうですよ。

次長補佐 では、割り振り表に従って班ごとに集まってもらって、最後までそれでやるっていう形でよろしいですか。

あと時間はどれぐらいにしますか。

委員長 取る時間は、最初始まって説明して、その後は割り振りの中で協議してもらって、あと発表までありますから、時間どれぐらい取りますか。

私の報告は10分もないぐらいですから。

勝村委員 じゃ、10時15分から始まったとして、これは全部一緒にやっちゃうんですね。

議長 10時から開会して10分ぐらいで班分けして、15分から始まって、55分くらいまで。

委員長 11時ぐらいまでですね。休憩を10分ぐらい入れて。

勝村委員 11時には終わらないとね。休憩入れてあと20分で。

委員長 最後のまとめは今度議運のほうでまとめさせていただきますということで。

そうしたら45分ぐらいを取るということで、グループ分け、うちの進め方が早ければ別に10分から始まれば50分ぐらいに取りまとめできますから、一応45分から50分ぐらいを

取っておきます。まとめてそこで決めるわけではないですからね、ご意見をいただいたということで、あとは議運で検討して。

でもこの間も、発表して結構皆さん本当に手際よくやりましたよね。

いろんな意見が出てほんとすごいですよ、みんないつの間にか自分の役割ができていたみたいで、決まって。その辺は各リーダーになる方が発表者を決めていただくんですね。

じゃそういう形で時間配分をお願いします。

あとは、先ほど言ったようにちょっとその広報のほうも入れてもらおうと。

副議長 これこういうやり方って結構画期的ですよ。議員勉強会でこういうやり方って画期的だと思うから、これ記者とか呼んで記事にしてもらったらどうなんですか。

結構話題になるんじゃないかと思うんですけど。来る来ないは別ですよ。

ただ、議員勉強会、以前だって記者に取材に来てもらって、記事にしてもらったじゃないですか、障がい者のあのときとかね。だからこれ結構珍しいですよ、こういうやり方。

情報だけちょっと流してもらって、記事にもらって、どんなもんですか。

寺門委員 那珂市議会としてPRするのはね。

次長補佐 前の勉強会のときは、新聞の投げ込みをしたんですね。秘書公聴課で定期的にそれはやってくれているので、それで投げ込みしたんですけど。今回はちょっと時間的に開催までが短いので、県庁記者クラブに持っていけば……

議長 しょっちゅう来てる、茨城新聞社の人いるでしょ。

委員長 報告のリハーサルでさえ、ちょっとほかで言ったらびっくりして、それやるのって、ほかの議会でね。うちは事前にリハーサルやるよって、一応最初の時はいろいろ意見が出たんだよって、やり方、市民のような形でっていう話をしたら、いやすごいねってびっくりした市議会もありましたけど、そういうのも、結構、一生懸命、皆さんこうやって協力してやっていますからすごいなと思うんです。

じゃ、投げ込みはお任せして。

そのほかなければ、1月30日の議員勉強会、たいへんでも皆さん、ご協力よろしく願いいたします。本日は長時間にわたりましてのご審議ありがとうございました。

よろしく申し上げます。ご苦労さまでした。

閉会（午前11時44分）

平成30年4月5日

那珂市議会 議会運営委員会委員長 君嶋 寿男